

# 令和4年度 倉敷市食育推進会議議事録

日時：令和4年7月14日（木）13：30～14：50  
場所：倉敷市水道局 3階 大会議室

委員

出席者

秋田会長、児山副会長

大西委員、荻野委員、金田委員、佐々木委員、洲脇委員、田野委員、中濱委員、  
浪尾委員、成田委員、新田委員、藤澤委員、淵本委員、北條委員、森委員、  
吉原委員

以上 17名

欠席者

飯田委員、内田委員、畠中委員、藤澤委員

以上 4名

市側出席者

倉敷市保健所 吉岡所長、西川参事

健康づくり課 河本課長、三宅課長補佐、家守主幹、高木係長、永禮主任、  
嘉見副主任、染谷栄養士

児島保健推進室 平子室長

玉島保健推進室 東山室長

水島保健推進室 柴山室長

真備保健推進室 片山室長

農林水産課 大内課長、長間主任

以上 15名

傍聴者・報道機関 なし

## 1 開会

事務局

それでは、定刻がまいりましたので、始めさせていただきます。本日は、皆様方にはお忙しいところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます倉敷市保健所健康づくり課の高木でございます。よろしくお願ひいたします。本日の出席委員は、16名で委員総数21名の半数以上の出席がありますので、倉敷市食育推進会議条例第6条により会議が成立しますことをご報告いたします。また、本会議は倉敷市審議会の公開に関する要綱により公開となっておりますが、本日は傍聴者、報道機関は来られていません。それでは、倉敷市食育推進会議の開会にあたりまして、倉敷市保健所 所長 吉岡明彦 がご挨拶を申し上げます。

事務局

本日はお忙しい中、令和4年度倉敷市食育推進会議にご出席いただき誠にありがとうございます。また、平素から、第二次倉敷市食育推進計画の推進につきましても、それぞれのお立場でご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。長引くコロナ禍で、市民の皆様方の生活は変化を余儀なくされるなか、食環境では、料理を作る機会が増えるなどの変化がみられるなど、食を通じた健康づくりの働きかけには好機となっております。そのような中、令和3年度から産学官連携や地域の関連団体、学校等と連携し、給食、中食、外食、地域での自然に健康になれる食環境づくりに向けて「くらしき3ベジプロジェクト」を開始しています。また、来年度は、本計画の最終評価を控えていることもあり、今年度はさらなる推進強化が必要であると考えておりますので、本日は、委員の皆様方には、くらしき3ベジプロジェクトの

推進をはじめ様々な観点から忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。今後とも、食育活動の輪がさらに地域に広がりますよう、皆様方のご支援、ご協力を心からお願い申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。

事務局

本来ならば委員の皆様には、改選による委嘱状の交付をさせていただく予定でしたが、新型コロナウィルス感染症予防の観点から、委嘱状を皆様のお席に置かせていただいております。なお、本日のお席は50音順としておりますので、あわせてご了承いただきますようお願いいたします。それでは、本会議は、委員改選後の第1回目の会議ですので、自己紹介として、各委員の方にお名前と所属をお願いします。次第の裏面をご覧ください。なお、本日所用により、ご欠席の委員は、名簿2番岡山県歯科衛生士会飯田委員、名簿3番岡山学院大学内田委員、名簿15番市民公募委員畠中委員、名簿17番川崎医療福祉大学藤澤委員です。では、名簿1番、秋田委員からお願い致します。

自己紹介

(各委員及び事務局 自己紹介)

事務局

ありがとうございました。食育推進会議条例の第4条により委員の任期は2年になっており、今年度は、改選により新たな推進会議委員による会議となります。第5条により、会長1名、副会長1名を委員の皆様方の推薦により、お願いしたいと思います。

委員

多くの委員が交替していますので、事務局一任でお願いしたいと思います。

事務局

ただいま事務局一任の声をいただきました。皆様いかがでしょうか。賛成の方は、拍手をお願いいたします。

～ 委員、拍手 ～

それでは、会長に秋田委員、副会長に児山委員を推薦いたします。皆様、いかがでしょうか。賛成の方は、拍手をお願いいたします。

～ 委員、拍手 ～

ありがとうございます。それでは、本審議会の会長は秋田委員、副会長は児山委員に決定いたしました。秋田会長、児山副会長、前の席にお移りください。

会長

改めまして、このたび会長に選任されました秋田です。浅学非才な私です。このような大役を受けて非常に困惑しているのが正直なところです。今回の改選で委員の方も多く交代されていますが、私も昨年から参加しておりますが、心機一転気持ちを新たに令和4年度も食育推進の四つの柱を軸に、くらしき3ベジプロジェクトの趣旨に基づき、皆様方とともに協働、連携し、情報交換を行い、計画に沿ったすばらしい成果をあげられるように頑張っていきたいと思いますで、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。何卒よろしくお願いいたします。

副会長

失礼いたします。栄養改善協議会の児山と申します。私も2年ぶりに委員に戻ってきました。去年までの様子は聞いていますが、また皆様と一緒に頑張って食育を推進していきたいと思います。現在、栄養委員も3ベジを一生懸命推進しています。今日も3ベジポロシャツを着てきましたが、皆様の団体の協力が必要となることが多いと思います。また皆様と協働して、進めていきたいと思います。今日はよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。協議に入らせていただく前に資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。今回の資料は、会議次第、裏面に委員名簿、倉敷市食育推進会議条例、資料1は、最終評価アンケートに関連する報告及び

令和3年度の主な実施事業の評価報告及び各アンケート調査票、資料2は3ページ推進協力店制度のちらし（案）、別冊資料「令和3年度実施事業評価報告詳細」、「令和3年度事業実施一覧」「令和4年度事業計画一覧」、また、事前に郵送させていただきました「第二次倉敷市食育推進計画」「令和3年度事業実施評価報告」「令和4年度実施事業計画（案）」冊子、以上になります。なお本日は、会場を換気した状態で実施し、マイクはお渡しする前に消毒させていただくなど感染予防に努めてまいります。皆様ご協力をお願いします。これより、会議の進行につきましては、秋田会長にお願いいたします。

## 2 議事

### （1）第二次倉敷市食育推進計画について

会長

それでは、会議次第に従い、議事を進めさせていただきます。なお、発言される際には、議事録作成のため、マイクを使用し、最初に名前を名乗っていただきご発言ください。スムーズな議事進行について、ご協力をよろしくお願ひいたします。

それでは、議題（1）の第二次倉敷市食育推進計画について、説明をお願いします。

事務局

失礼いたします。お手元の第二次倉敷市食育推進計画「令和3年度実施事業評価報告・令和4年度実施事業計画（案）」の1ページをご覧ください。第二次倉敷市食育推進計画は、平成23年度から令和5年度までの13年間の計画となっています。

2ページをご覧ください。この計画は、「食で育もう 元気なくらしき～触れ合う家族 助け合う地域 広がる食育の輪～」をスローガンに掲げ、食育を推進するための重要な視点である、「食の知識・体験」「食を通じての健康づくり」「食文化の継承・交流」「食の安全・安心」の4つの柱に基づき推進しています。

5ページをお開きください。平成27年度には中間評価を行い、平成28年度以降の推進に向け課題を整理いたしました。その詳細につきましては、お目通しください。

続いて、6ページをご覧ください。中間評価以降の目指す姿といしましては、中間評価の課題を踏まえ、各種関連団体、職域、保育・幼稚園、学校等との連携を強化するとともに、地区特性を踏まえ地域にあった活動展開を行い、食育が地域に根ざしていくことを目指しております。

また、令和5年度の最終評価に向けての食育の推進において、令和2年度に目指す姿に「SDGs」の視点を追加し、さらに、令和3年度から健康づくりに関心の向きにくい方への働きかけを強化するため、取り組みの方向性に「自然に健康になれる食環境づくり」の視点を追加し、重点を置いて取り組んでいます。

そのことについては、7、8ページをご覧ください。自然に健康になれる食環境づくりの取り組みとして、「くらしき3ベジプロジェクト」を始動しました。野菜を食べる3つの習慣「3ベジ」を自然に身につけることで、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病の予防につながる環境を整える取り組みです。さらにSDGsの観点も踏まえ、食を通じた健康づくりと持続可能な食育推進の両面から連携しながら取り組んでいます。後ほど事業報告で令和3年度の取り組みを報告させていただきます。

続いて、9ページには主な指標と目標値を掲載しております。平成27年度に中間評価アンケートを行い、その後令和2年度に再度目標値の見直しを行い、令和5年度までの目標値を設定し、計画を推進しています。令和5年度の最終評価に向けて、令和4年度中にアンケート調査等による指標の達成状況の評価を行うほか、数値だけでは表しきれない関連団体等との連携や協働による取り組みのプロセス等にも着目し、様々な視点から評価を行う予定です。最終評価に向けたアンケート調査やスケジュールは議題2でご説明いたします。

以上が第二次倉敷市食育推進計画の概要となります。計画の概要や中間評価報告の詳細につきましては、第二次倉敷市食育推進計画冊子、第二次倉敷市食育推進計

画面中間評価報告書冊子をご覧ください。

会長 ありがとうございました。続いて議題（2）の第二次倉敷市食育推進計画 最終評価アンケートについて、事務局より説明をお願いします。

(2) 第二次倉敷市食育推進計画 最終評価アンケートについて

事務局 続きまして、資料1の「健康くらしき21・Ⅱ」および第二次倉敷市食育推進計画 最終評価アンケート（案）について御報告します。スライド番号1をご覧ください。アンケート調査は、ライフステージ別に4種類実施します。①の20歳～64歳の市民3,000名、②の65歳以上の市民1,000名、③の2歳のお子さんを持つ子育て世代500組、④の思春期の中学生2,000名を対象に、健康全般や食育に関する意識、糖尿病に関する知識やくらしき3ベジプロジェクトの認知、コロナ禍における生活習慣の変化等について尋ねます。スライド番号2をご覧ください。アンケートは、9月末までに回収し、令和5年1月末までに結果をまとめる予定にしています。そして、令和5年度の1回目の食育推進会議で、委員の皆様方へ報告させていただきたいと考えております。具体的な内容については、本日お配りしております4種類のアンケート資料をご確認ください。

続いて、スライド番号3をご覧ください。第二次倉敷市食育推進計画の最終評価及び次期計画策定のスケジュールについて、説明をさせていただきます。

倉敷市の計画は赤の枠内です。倉敷市では、令和3年度から開始し、令和3年度7～9月に最終評価に必要なアンケート調査を実施した後、令和5年度中に最終評価報告書を完成する予定です。

また、次期計画については、倉敷市健康増進計画との整合性を図りながら、令和5年度末の策定にむけて検討を開始いたします。令和5年6月ごろには計画策定に必要なアンケート調査を実施し、10～11月頃には計画案をまとめ、食育推進会議で審議いただき、完成予定としています。よって、食育推進会議を令和4年度は今回の1回、令和5年度は2回の開催を予定しています。

以上最終評価アンケート及びスケジュール等について説明させていただきましたが、これらはすべて、倉敷市健康増進計画と合わせて行い、先日の倉敷市健康増進計画審議会でも承認をいただいております。

会長 ありがとうございました。最終評価アンケートやスケジュール等について事務局からのご説明がありましたが、これらは倉敷市健康増進計画と一緒に行われ、先日の健康増進計画審議会で承認されているということですので、委員の皆様、ご承知ください。

(3) 第二次倉敷市食育推進計画 令和3年度実施事業評価報告について

会長 それでは、続いて、議事（3）第二次倉敷市食育推進計画令和3年度事業評価報告について事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、ご説明をさせていただきます。資料1のスライド番号4をご覧ください。計画の評価の視点とその方法ですが、平成28年度から、実施回数、参加者数など数値による評価に加え、数値では表わしきれない短期の成果としては、市民や学生などの声や参加者の変化、そして協働による取り組みのプロセス評価を重視しております。さらに、食育推進のための重要な視点である「食育推進の4つの柱」についてはどの分野の推進に関連しているかを表し、SDGsについても評価の視点に入っています。また、実施回数や参加者数については、年間を通じた回数を記しています。取り組み

評価の概要は冊子14～26ページへ、詳細は別冊の資料へ記載しています。

そして、活動を展開するうえで、特に重視する点としましては、平成27年度に行った中間評価の結果から、食への関心が向きにくいと思われる「若い世代や男性」を対象とし働きかけを行いました。方法といたしましては、地域で食育を推進していただいている関連団体、職域、学校、行政等がそれぞれ主体的に、かつ連携・協働し推進しました。

スライド番号5をご覧ください。活動計画としては、1. 倉敷市健康増進計画「健康くらしき21・II」との整合性を図り、「食べることへの支援」を通じた健康づくりの推進、2. 地産地消の推進、3. 食品の安全性についての情報提供の充実、4. 食品ロスについての情報提供の充実、令和3年度から新たに活動計画に加わった5. 自然に健康になれる食環境づくり「くらしき3ベジプロジェクト」を通じて総合的な食育の推進に重点を置き取り組みました。

スライド番号6をご覧ください。これより、令和3年度の主な実施事業の評価報告をさせていただきます。まず、世代に応じた生活習慣病の予防、特に糖尿病・高血圧症予防対策及びフレイル予防、感染症予防のための食を通じての健康づくりの主な取り組みについてご報告します。

スライド番号7をご覧ください。昨年度初めて、産・学・官協働により、商業地の野菜売り場において啓発を行うことができました。ナッジを活用しながら、視覚での周知を強化し、健康に関心の向きにくい若い世代を中心とした幅広い世代へ、生活習慣病予防の啓発を行うことができました。今後も、産・学・官が連携して、大学生の声を大切にしながら共に「くらしき3ベジプロジェクト」を推進していきたいと思います。

スライド番号8をご覧ください。地域の関連団体等と連携し、成人特に男性に向けたバランスのよい食事や、噛むことの大切さ等の啓発を強化しました。啓発方法に関しては、場所や内容を工夫するなど各団体のもつ得意な部分強みを活かした生活習慣病予防の啓発を行うことができました。今後も、感染症の流行状況も配慮しながらも、効果的な啓発を行うために、機器による数値的な根拠を用いた動機付けや、地域づくりを視野に入れ、仲間づくりの場としても機能するよう工夫し実施していきたいと思います。

スライド番号9をご覧ください。子育て支援拠点や学校等と連携し、生活習慣病の予防に向け、若い世代からの健康的な生活習慣の定着を目的とした啓発を行いました。今後も、多職種が連携し、切れ目のない子育て支援を行うとともに、学校への働きかけを継続し、若い世代の食に関する課題の解決および地域づくりの推進に向けて、啓発を強化していきたいと思います。

続きまして、スライド番号10をご覧ください。関連団体と連携して、歯周病予防を通じた糖尿病予防、また食べることの重要性について歯科・栄養・心の健康等多方面から啓発し、フレイル予防にも取り組みました。今後も、関連団体や多職種と連携した歯・口の健康面から全身の健康づくりを啓発し、かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科検診の受診を促せるような、啓発方法を検討していきます。

スライド番号11をご覧ください。防災月間を活用し、災害だけでなく感染症への備えとしても、備蓄食品の活用方法や日頃からのバランスのよい食事の重要性を啓発しました。今後も、平時から望ましい食習慣を身につけ、セルフケア力を高めておくことの重要性を継続して啓発していく必要があると考えています。

次に、2の地産地消推進の主な取り組みについて報告いたします。スライド番号12をご覧ください。関連団体、飲食店と市の関連部署が連携・協働し、地産地消の普及を行いました。「連島ごぼう」の収穫体験を通じて、地産地消への関心の向上を図ったり、農産物直売所でニーズ調査を行い、課題を確認したりすることができました。今後も、関連団体等と連携を深め、生産者と地元野菜を求める飲食店とを結びつける仕組みづくりを進める必要があると考えています。

続いて、スライド番号13をご覧ください。食の循環を意識した学校での地産地消及び食育の推進として、「くらしき市版ヘルスジャッジ」による指導など、ICTを活用した効果的な食に関する指導を行うことができました。今後も、関連機関と連携し、学校における地産地消を進めていきたいと思います。

続いて、3の食品の安全性についての情報提供の主な取り組みについて報告いたします。スライド14をご覧ください。イベントや講演会で、体験学習を通じた正しい手洗い方法を啓発し、手洗いの重要性について再認識してもらうことができました。今後も、手洗い実習を効果的に活用しながら普及啓発に努めます。

スライド15をご覧ください。学校と連携し、食物アレルギーに対する知識の普及や食物アレルギーをもつ児童の食品選択性の向上を目指し啓発を行いました。食に興味をもち、栄養バランスを考えて食べることの重要性を参加者に学んでもらう機会となりました。今後も、安全に安心して食べられるような情報提供や食物アレルギーへの理解が進むように働きかけを行います。

続いて、4の食品ロス削減についての情報提供の充実について報告します。スライド16ご覧ください。関連団体と連携し、野菜の使い切り・リメイクレシピの紹介を通じて食品ロス削減の啓発をしました。また、高校生と考えたフードロス対策では、地元の高校生が企画し、小中学生と共に献立作成から実食し消費するところまで体験することで、効果的な啓発となりました。今後も、関連団体や学校と連携して啓発を行い、取組の輪を広げていきたいと思います。

それでは、ここからは冊子に戻ります、21ページをご覧ください。昨年度から重点的に取り組んでいる「くらしき3ベジプロジェクト」を通じた総合的な食育の推進についてご報告します。給食、中食、外食、地域支援の4つの部会を設け、ナッジ等を活用し、産学官連携や地域の関連団体等と連携し取り組みを行いました。

まず、給食では、「みんなで同じように食べる」といったナッジを活かし、給食を通じた3ベジの定着にむけて環境整備を進めています。学校園では、市の関係部署や園長・校長会に説明し理解を得ました。また、歯科医師会からの働きかけにより、小学校の学校保健委員会で取り組むなどの広がりを見せています。今後、給食を通じた地産地消と3ベジの一体的な推進を目指します。

また、企業の事業所給食では、健康経営の観点から連携した取り組みの実施に向けて働きかけを行ったところ、企業側から野菜のパフェ「ベジパフェ」の考案や、ポスター掲示による啓発の提案があるなど、大きな成果がみられました。

次に中食では、産学官協働事業の実施強化に向けて、大学生にアイデア募集を行い、その後共に事業を推進してくれる学生を募り、学生のワーキンググループ会議「3ベジ学生会議」を立ち上げました。

また、野菜や惣菜売り場にのぼり旗やPOPを掲示したり、野菜やサラダ等に3ベジのシールを貼ったり、大学生考案の野菜たっぷりレシピを設置したりと工夫を凝らし、売り場に合わせた啓発を行いました。

また、22ページ上の外食では、飲食店などの外食産業での啓発や3ベジメニューの提供に向けて、食品衛生協会に働きかけを行いました。その中で「協力店を市のHPに掲載することで飲食店の協力が得られやすいのではないか」、「制度があった方がわかりやすい」などのアイデアをいただき、現在検討を行っているところです。

また、地域では、社会福祉協議会や栄養改善協議会と地域の健康課題や現状を共有し、食品ロス等の活用を進める「互近助パントリー」と連携し、地域づくりを視野に入れた栄養格差縮小からの健康格差縮小等に向けて検討しました。また、栄養改善協議会の活動やイベントでも糖尿病や高血圧症予防やフレイル予防と併せて啓発を行いました。

今後も、各部会において、倉敷市の健康課題を確認しながら推進の方向性を定め、地産地消や食品ロス削減などSDGsの観点も踏まえながら、部会を中心に地域の関連団体や学校園及び大学等と協働に向けた展開を図ります。

会長 ありがとうございました。先ほど、日頃から地域で啓発をしてくださっている倉敷市栄養改善協議会のお話がありましたが、追加などありますでしょうか。

副会長 倉敷市栄養改善協議会では、地域の現状や課題に合わせ、関連団体と連携しながら、3ページを通じて糖尿病や高血圧症等の生活習慣病予防やフレイル予防につながるように、取り組んでいます。皆様のお手元にクリアファイルを置かせていただいていますが、3ページの実践がイメージしやすいよう、また自分の身体に合った一日の摂取量の目安を知ってもらえるよう、手ばかりで野菜350gを伝えたり、栄養委員が考えたレシピ付きの啓発資料を健康づくり課と連携して作成し、地域のイベントや事業で活用しています。10の食品群チェック表が入っていますが、こちらを使いバランスのよい食事がとれているかどうかをチェックしてもらっています。また、裏にはフレイル、オーラルフレイル予防の資料をつけています。子どもの頃から早寝早起き朝ごはんと3ページの習慣を定着させておくことが大切です。そこで、地域の子育て支援拠点や親子クラブ等の関連団体と連携し、野菜を使ったレシピの紹介や3ページ手遊び等体験を通じて楽しく啓発しました。また、児島の小学校・中学校・高校と連携して実施しているお弁当コンクールでは、テーマを3ページに沿ったものとする等、栄養委員が工夫し、野菜摂取や噛むこと、バランスのよい食事の重要性について啓発を行っています。また、各地区で開催している食育栄養まつりでは、愛育委員会等の関連団体と連携したフレイル予防も併せて生活習慣病予防に向けた総合的な健康づくりの推進、環境衛生協議会等と連携した食品ロスや地産地消等SDGsを踏まえた総合的な食育の推進につながりました。今後も関連団体のみなさんと連携しながら、倉敷に住んでいるだけで自然に健康になれる食環境づくりに向けて、地域に根ざした3ページの推進を進めていきたいと考えているところでです。以上です。

会長 ありがとうございました。このクリアファイルですが、私自身何をどれぐらい食べたらよいかというのがよく分かっていないのですが、手ばかりだと、両手でざっくり3杯分で一日分の摂取目安となり、分かりやすいですね。是非ともこれを活用していただけたらと思います。また、バランスのよい食べ方では、キャッチフレーズ「“10品目、さあにぎやかにいただく”で7品目以上を目指しましょう」とありました。夕食等家族が揃って食事が食べられないような状況もある中、にぎやかに、「今日は魚と油と…」というように、1日10品目を目指して家庭で会話をしながら食を楽しんでいけるとよいと思います。非常によい取り組みだと思うので、皆様も広めていっていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

どうもありがとうございました。引き続き、事務局よりお願ひします。

事務局 ここまで、実施事業報告をさせていただきました。食育の推進にあたっては、各分野の関連団体の積極的な働きかけや、地域に根ざした取り組みが不可欠であると考えております。これ以外で委員の皆様からご報告いただいた事業については、別冊資料に記載しておりますので、詳細はお目通しください。

続いて、冊子の23ページをご覧ください。食育推進に関連する団体、職域、保育・幼稚園、学校との主な連携・協働のプロセスと目指す姿についてご報告いたします。

表の一番右へ記載しております令和5年度に目指す姿の達成に向けて、平成28年度以降の主な取り組みのプロセスを、植物の成長過程に見立てて表しました。ジョークでの水やりは働きかけやしかけづくり、芽は協働した取り組みに向けて検討中、花は協働した取り組みの実施や継続、りんごの実は目標達成としました。

ご覧いただいているように、少しずつ、取り組みが充実してきている様子がおわかりいただけると思います。

令和3年度をご覧ください。新たに取り組んだことについては、背景に緑の色付けをしています。また、表の右端「令和5年度に目指す姿」として17の目標を設けており、目標達成したものは実の横に番号を記し、令和3年度に達成したものは赤字で記しています。令和3年度は、目指す姿に対して、新たに4つのりんごの実がなりました。

まず、1つ目は、24ページの右端に示しております目指す姿②の「地域の中で、関連団体間が連携した取り組みができる」についてです。令和3年度の上から2つ目の緑の枠内をご覧ください。「くらしき3ベジプロジェクト」の推進にむけて、栄養改善協議会や愛育委員会、歯科医師会と連携した取り組みに向けて、働きかけを行いました。その後、それぞれの団体の強みを活かした啓発や団体同士が連携した取り組みにつながったことから、目標達成とさせていただきました。

2つ目は、同じく右端の目指す姿⑦の「子育て支援関連団体との連携を強化し、子育て世代への取り組みができる」についてです。令和3年度の下から2番目の緑の枠内をご覧ください。子育て支援拠点と市の健康づくり課とが連携し、子育て世代の不安軽減や地域での仲間づくりを目指した「離乳食と歯の教室」を新たに開始できることより、達成とさせていただきました。

26ページをご覧ください。同じく、右端に示しております目指す姿⑩の「食を通じた健康づくりを意識する事業が増える」についてです。給食施設巡回指導を通して、事業所ごとの健康課題や環境に合わせた啓発方法の検討を行うことができたことから、達成とさせていただきました。同じく、右端に示しております下から2つめの⑯「企画から実施・評価まで、共に取り組むことができる」についてです。栄養改善協議会と高校で食の課題を共有し、計画から授業の実施・評価まで共に取り組むことができたことから、達成とさせていただきました。

今後も、令和5年度の目指す姿に向けて、皆様方のご協力を得ながら、たくさんのりんごを実らせられるよう推進してまいりたいと思います。ここまで報告は以上です。

会長 ありがとうございました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。  
無いようでしたら、残りの報告を事務局よりお願いします。

事務局 続いて、冊子の27ページをご覧ください。推進における会議の実施状況と、28ページから30ページには令和3年8月に実施した市民モニターアンケートの結果をまとめております。昨年度より良くなっている指標は、1番の自分で料理を作ることができるという項目でした。これは、昨年度より4.9%増加していますが、コロナ禍で外食の機会が減り、自宅で料理をする機会が増えたためではないかと考えられます。その他の項目は、ご参照ください。

続いて、31ページをご覧ください。食育に関するトピックスとして2点ご報告させていただきます。

1つ目は、「3ベジ学生会議」の発足についてです。産・学・官連携による「くらしき3ベジプロジェクト」の推進に向け、市内の栄養士養成大学である岡山学院大学、川崎医療福祉大学、くらしき作陽大学の3校へ、学生のアイデアを募集しました。そして、アイデア実現、周りの若い世代等への情報発信を目的に「3ベジ学生会議」を立ち上げました。学生発案の啓発方法は柔軟な発想のものが多く、若い世代に向けた啓発の糸口となっています。柔軟な発想力や発信力を活かし、令和4年夏のイベント等での啓発実現に向けて、今後も会議を重ねていきます。

32ページをご覧ください。2つ目は、府内・関係団体との連携による情報発信についてです。検討会において、府内関係部署から、「3ベジマークがかわいいので取り入れやすい」「各課の既存事業とコラボすると進めやすい」等の意見が出され、この会議をきっかけに各課で発行している情報誌に掲載したり、既存事業に「3ベジ」

のエッセンスを加えたりすることができ、広く市民に周知することができました。

また、様々な啓発グッズを作成しており、ポスターやのぼり旗を掲示し、えんぴつとマスキングテープを配布させていただいております。のぼり旗をご活用していただけるようでしたら、会議後、お渡しいたしますので、お声かけいただければと思います。

会長 ご報告をありがとうございました。ここで委員の皆様方にご意見やご質問をいただきたいと思います。先ほどのトピックスでは、3ベジ学生会議についての報告がありましたが、この大学との連携した取り組みについて、くらしき作陽大学の方いかがでしょうか。

委員 くらしき作陽大学です。この話をいただき、最初は正直学生がどれくらい乗り気になってくれるかというところもあったのですが、学生に説明をし、実際にどんなアイデアがあるか、書いてもらうと、「私こんなことしてみたい」等、本当に前向きに取り組んでいました。このような取り組みを基に、学生自身が野菜を買いに行くようになったり、見に行くようになったりするということもあったので、そもそもこの取り組みを学生に振ったことが、3ベジの普及や野菜摂取に繋がったのかなと思います。

会長 貴重なご意見をありがとうございました。他にご意見やご質問はございませんでしょうか。

#### (4) 第二次倉敷市食育推進計画 令和4年度実施事業計画（案）について

会長 続いて、第二次倉敷市食育推進計画 令和4年度実施事業計画（案）について事務局よりご説明をお願いします。

事務局 続きまして、議事（4）令和4年度の実施事業計画を説明いたします。  
冊子の35ページをご覧ください。

令和4年度の主な活動計画ですが、国の第4次食育推進基本計画を踏まえ、食育推進の4つの柱に沿って、地域の関連団体や職域、大学等と連携を強化した推進を目指します。推進にあたっては、自然に健康になれる食環境づくり「くらしき3ベジプロジェクト」に力点を置いて取り組みます。令和4年度の活動を展開するうえで、特に重視する点は、前年度に引き続き、若い世代や男性を対象にすることとします。

主な活動計画をご覧ください。令和4年度に新たに取り組むことや強化することに、赤の二重線を引いています。

1つ目は、「健康くらしき21・II」との整合性を図り、「食べることへの支援」を通じて健康づくりを推進します。中でも、歯科医師会等の関連団体と連携・協働し、乳幼児期からの糖尿病等の生活習慣病予防及び噛むことを通じたフレイル予防の啓発を強化し、定期的な歯科検診の受診を促進します。

2つ目は地産地消の推進、3つ目は食品の安全性についての情報提供の充実、4つ目は食品ロス削減の推進、5つ目は、「3ベジプロジェクト」の推進です。

一つ目として、給食・中食・外食・地域支援の各部会において、市の健康課題やSDGsを意識しながら推進方向を定め、ナッジ等を活用した効果的な取り組みを検討します。

二つ目として、市内大学と連携を強化し、3ベジプロジェクトの啓発媒体の作成（3ベジソング等）を行い、啓発を強化します。

三つ目として、学生会議を通じてナッジ等を活用した行動変容を促す仕掛けについて検討を重ね、市内商業地等において、産・学・官の協働による事業の展開を図ります。

す。

四つ目として、関連団体と連携・協働し、飲食店や事業所での自然に健康になれる食環境づくりの制度など、推進の拡充に向けた仕組化を検討します。

計画にある3ベジソングは3ベジの認知度や関心を高めることを目的として、音楽学部を有するくらしき作陽大学と連携して、現在作成中です。3ベジソングは学校園やスーパー・マーケットの食品売り場やイベント等のあらゆる場面で流す予定です。

続いて資料2をご覧ください。こちらが、飲食店や事業所での自然に健康になれる食環境づくりに向けて検討している協力店制度の案です。3ベジに沿ったメニューを提供したり、ポスターを掲示するなど3ベジの推進に協力してくださる団体を3ベジ推進協力店として登録し、協力店はホームページや広報誌等で店舗の紹介をしたり、ステッカーや啓発グッズがもらえるなどのメリットを考えています。

計画の説明は以上です。

令和4年度の事業実施計画についてご審議いただきますようお願ひいたします。

会長

ありがとうございました。それでは、協議に入りたいと思います。

まずは、資料2の自然に健康になれる食環境づくりに向けた制度や協力店を増やすために、どうしたらよいかなどのご意見をいただければと思いますが、これは、食品衛生協会の方いかがでしょうか。

委員

失礼いたします。3ベジと一緒に推進するお店『3ベジ推進協力店』の募集ということで、食品衛生協会としても協力したいと思っていますが、協力店にはステッカー・やポスター、のぼり旗等のグッズをいただけるということですが、協力店へのメリットもさることながら、実際にこの3ベジ運動に協力するお客様にもポイントや加点があるようなメリットがあれば、仕組みづくりにつながるのではないかと思います。

協力店の方に特典となるクーポンを出したり、一品サービスしてもらったりとなると、参加してくれる協力店が少なくなるような気もしますので、協力店にもメリットになり、お客様にもメリットになるような、仕組みづくりはいかがでしょうか。  
以上です。

会長

ありがとうございます。コロナで飲食店も厳しい中、お店にクーポンを出してもらうというのは非常に難しいと思います。そんな中で3ベジを普及していくためには、メリット等も検討していかないといけないので、皆さん、よい意見がありましたらよろしくお願いします。どうもありがとうございました。

続いて、特に関係のある商工会議所の方いかがでしょうか。ご意見等をお願いします。

委員

倉敷商工会議所です。先ほど、食品衛生協会様がおっしゃられた通りであると感じます。やはり事業者さんに、協力店制度や登録等をお願いするとしても昨今の状況下においては、メリットがないと難しいということはあらゆる場面で言われます。お店ですが、ご利用になる方相互に特典があればよいのではないかと思いながら、聞いていました。商工会議所では事業をされてる方“お店”がお相手なのですが、お店でメニュー開発というのは非常にハードルが高いと思いました。また、メニューの中で3ベジ、特にベジわん「一番に野菜を摂取する」という取り組みはオーナー（店長）さんにご理解がないと、ハードルが高いと思います。取り組むことによって、確かに健康問題の軽減につながるとは思いますが、事業所のメリット（よさ）とのバランスを考えた上で、進めていくのが重要ではないかと思っております。

会長

ありがとうございます。なかなかこれというよい方法はないですね。私も農家の方と直売所等をしている中で今非常に売り上げが悪く生産者に負担をかけられない。ま

た、飲食店でもコロナの影響で売り上げを伸ばしていかないといけない。その中で、3ベジ、野菜をしっかり食べることが大切だということは分かります。ただ、それをどのように持っていくかが難しいと思います。例えば、最近テレビ等で、各県や地域での『ソウルフード』を頑張っているのが紹介されています。学校給食等で小さい頃から食べているからこの料理は懐かしいと感じるという話もあります。そういう意味で、改めて、3ベジ野菜を使った料理を開発しソウルフードにする、これも一つの案ではありますが、考えてみてはどうでしょうか。私も農協で野菜の直売等をしています。3ベジを通じて野菜を食べることの大切さを消費者にも伝えていけたらと思っております。

先ほど、3ベジソングを作成しておられるということで、こちらも環境整備に有効だと思いますが、作成に携われているくらしき作陽大学の方からご意見いただけますでしょうか。

委員 何度も失礼します。私自身音楽に疎い方なので、実際携わってはいますが、ほとんど音楽学部の先生にお任せしている状態です。先生方は、子どもから大人までうけるように、耳残るようなもの、気がつけば言葉が耳に入り、みんなが3ベジを何となく口ずさむような、そういういたような曲をつくれたらなということでご尽力いただいております。でき上がりましたら皆様、いろんなところで流していただけたらと思っております。よろしくお願いします。

会長 3ベジソングはさまざまな場所で活用できそうですね。保育園などで流れていると動機付けに有効そうですが、保育協議会の方いかがでしょうか。

委員 保育協議会の方でも食に関する部会があり、市内から部員である保育園の保育士、保育教諭、栄養士、調理師さんが集まって、取り組んでおります。その中で今年度は、「野菜が好きな子どもになるための取り組み」をテーマに～くらしき3ベジプロジェクトに沿って～という形で、市内の保育園や、認定こども園の中でできる3ベジの取り組みを考えていきたいと思っています。その中で、3ベジソングを流したり、振りをつけたりとソングも活用させていただきたいと思います。

会長 ありがとうございます。3ベジソングで思い出したのですが、私も農協が連島地区で、小学校が西浦小学校でPTAをさせていただいた時に、ごぼうを使ったごぼう体操を作ったことがあります。小学校の低学年向けで作ったのですが、運動会の準備体操でごぼう体操、西浦小学校と連島東小学校でさせていただいたことを思い出しました。是非3ベジソングをよいものにして、保育園や小学校でも活用していただけたらと思いますので、よろしくお願いします。どうもありがとうございました。委員の皆様から、3ベジや3ベジソング等のご意見等があればお願いします。

委員 くらしき作陽大学ですが、先ほどお話を伺いながら3ベジをいかに普及するか、お店でもどうやっていくかということで、利用者にもメリットをというところがありました。最近は、私も学生もそうですが、一番普及しやすいのはアプリなのかなと思います。そういうものができるのかわかりませんが、できるとよいと思います。また、JAさんからも、普及に向けて、色々言ってくださるのですが、今売りたいものをクーポンとかにすれば、利用が増えていくのかなと少し思いました。

会長 ありがとうございました。委員の皆様からいただいたご意見やご提案を参考に、制度やサービス等も活用しながら、くらしき3ベジプロジェクトを推進していました

だけたらと思います。ぜひ、皆様のご協力をお願いします。協力がないとできませんのでよろしくお願いします。

他にご質問等はありませんか。それでは皆様、令和4年度の事業、実施事業計画案についてご承認いただけますでしょうか。拍手をもって、承認させていただきます。いかがでしょうか。

～委員拍手～

ありがとうございます。それでは、冊子表紙の実施事業計画(案)の案を外してください。続きまして、議事(5)その他・情報提供で事務局より何かござりますか。

#### (5) その他

事務局

例年委員の皆様方に御協力いただいております、子どものための食育フェアですが、今年度の開催に向け委員の皆様方へ御連絡を差し上げる頃、新型コロナウィルス感染症の流行が拡大しております、中止の決断をさせていただきました。令和5年度については、開催方法等も含め検討してまいりますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

続いて農林水産課からの情報提供がございますので、お願ひします。

農林水産課

貴重なお時間をありがとうございます。お手元の第7回食育活動表彰資料をご覧ください。こちらは農林水産省が主催で、ボランティア活動など、食育を推進する優れた取り組みを表彰しようというものになります。昨年度の第6回食育活動表彰では、倉敷市からシニア世代のサバイバル男料理の会がボランティア部門にエントリーされまして、消費安全局長賞を受賞されています。皆様の日頃の活動の中でこれはというものがございましたら、ぜひエントリーを検討していただければと思います。詳細については、農林水産省のホームページからご覧いただけますので、よろしかったら皆様ご覧ください。以上です。

会長

どうも、ありがとうございました。時間の方がまだ若干残っておりますけど全体としてご質問とかご意見ありませんでしょうか。医師会の方からもお話があれば、いただけたら大変ありがたいですが。

委員

医師会です。大変素晴らしいプロジェクトだと思います。私の観点からは、まだこのプロジェクトの位置付けがどこにあり、皆様がどのような思いで動いているか、実感がないため、どのようにアシストすればいいのかわからないのですが、かなり野菜中心のプロジェクトだなという感じがします。

野菜に関して、もう一つよいことを付け加えるとすると、野菜を食べると便秘にとてもよいことがあります。食育では、朝ごはんを食べることと関連があります。朝ご飯を食べると、胃が動きます。胃が動くと、30分後に大腸が動き、排便します。胃結腸反射といいますが、そういう便秘改善にも、朝ご飯はとてもいいですし、野菜は纖維質ですべて便になるので、便秘の解消にも繋がります。そういった意味でも、「便秘解消になりますよ」という、文言を入れると、プラスになるのではないかと思いました。以上です。

会長

ありがとうございました。野菜を摂ることで便秘が改善するというお話はよく聞きます。3ページを取り組む中で朝食摂取も合わせて極力野菜を摂るように今日の話をもとにみんなで頑張っていけたらと思います。

本会議において、令和5年度の最終評価に向けたスケジュールや、令和4年度の事業計画について、委員の皆様方にご承認いただきました。今後もさらに、食を切り口にした若い世代への取り組みが広がり、食を通じて倉敷市が元気になりますよ

う、共に食育を推進してまいりましょう。委員の皆様方、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、これをもちまして、本日の倉敷市食育推進会議を終了させていただきます。円滑な議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

では、事務局へお返しします。

事務局

ありがとうございました。

それでは、閉会の挨拶を倉敷市保健所 参事 西川 より申し上げます。

参事

本日はお忙しい中、審議会へご出席いただき、また、それぞれの立場から、貴重なご意見、ご発言を賜りまして、まことにありがとうございました。このたびの食育推進会議では、令和3年度実施事業評価報告及び令和4年度、実施事業計画に関するご審議に加え、食育推進計画の最終評価及び次期計画策定のスケジュールについて、それぞれご承認をいただきました。平成23年度を初年度とする第二次倉敷市食育推進計画は、「食で育む元気なくらしき」を計画の目指すべき方向といたしております。コロナ禍にある本市にとって「元気なくらしき」は、まさに目指すべき姿で、その実現のため、家族のふれ合いや地域での助け合いに繋がる、「食」に関する様々な施策にしっかりと取り組んでまいる所存でございます。皆様方におかれましても、「元気なくらしき」の実現のため、今後とも、本市における食育の推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日は長時間にわたるご審議、誠にありがとうございました。簡単ではございますが、閉会にあたってのごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

事務局

これをもちまして会議を終了とさせていただきます。

本日はありがとうございました。皆様お気をつけてお帰りください。

令和4年 8月26日

倉敷市食育推進会議

会長 秋田 誠



